



(絵図)『江戸名所図会 駿河町 三井呉服店』斎藤月岑筆 長谷川雪旦画 天保7年(1836)」部分

- 第1回 10月4日(水) 午後2時~4時
講義:「江戸の成り立ち」
- 第2回 10月18日(水) 午後2時~4時
講義:「江戸庶民の衣食住」
- 第3回※ 11月1日(水) 午前8時~午後3時頃
フィールドワーク:「日本橋本町めぐり」



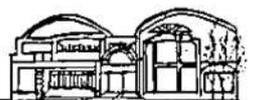
■講師 久染 健夫氏
(江戸・東京 郷土史研究者)

■募集要領

- 9月1日(金)午前9時より電話または窓口で受付開始
- 場所 大野台公民館 ※第3回は日本橋本町周辺
- 先着50名 ※第3回は希望者のみ20名、希望が多い場合は抽選となります。
- 受講料 無料 ※第3回参加者は3,500円(バス代及び駐車料金)
- 申込・問合せ 042-755-6000 ●主催 公民館文化部

<裏面参照>

木もれびの森 大野台公民館

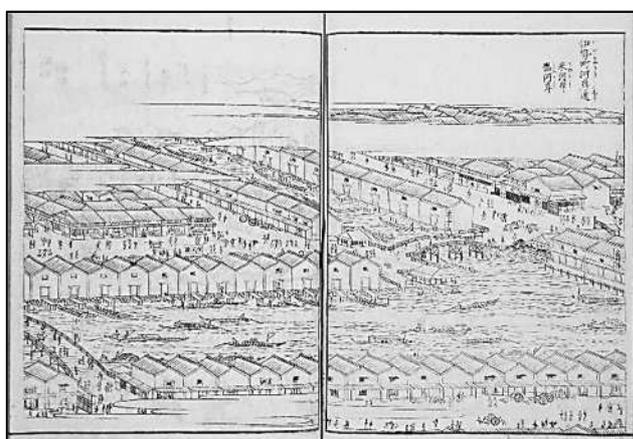


■第28回歴史講座

江戸の成り立ち

■講座概要

大都市江戸はどのようにして生まれ、拡大していったのか。そのようすを、川の開削や江戸市中各地域の「町の個性」にもふれながらお話します。また江戸で生きた庶民の暮らしを、衣食住を中心に解説し、史跡巡りも合わせて実施します。



『江戸名所図会 伊勢町河岸通』斎藤月岑筆
長谷川雪旦画 天保7年(1836)

●第1回 講義：江戸の成り立ち

大都市江戸の拡大と発展がどのように進んでいったかを考え、江戸の役割を学びます。

●第2回 講義：江戸庶民の衣食住

どんなところに暮らし、どんな食事・服装だったのか？江戸庶民の暮らしぶりを学びます。

●第3回 フィールドワーク：史跡巡り

江戸の最初の城下町、日本橋本町周辺を歩きながら、新興都市・江戸が開かれていった時代の痕跡を探ります。

■講師のプロフィール



●久染 健夫氏

1956(昭和31)年東京都江東区生まれ。東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程修了。荒川区・江東区の文化財専門員を経て、深川江戸資料館、中川船番所資料館等で勤務。退職後は歴史講座・史跡巡り等の講師を中心に活動している。「地域の歴史を知ってもらう、地域の歴史を楽しんでもらう」ことを自分の仕事としている。

※体調管理およびマスク着用など、新型コロナウイルス感染予防にご協力ください。

